

世界農業遺産「清流長良川の鮎」 ながらがわかこうぜきち 長良川河口堰で稚アユの遡上見学会を開催！

今年も風薫る5月に入り、長良川河口堰では、世界農業遺産である「清流長良川の鮎」の稚魚が伊勢湾から長良川を力強く遡上する姿が魚道観察室（魚道の真横からガラス越しにアユ等の遡上状況を観察できる所）で頻繁に見られるようになりました。

長良川河口堰管理所では、稚アユの遡上が盛んになるこの時期に魚道を元気よく遡上する稚アユをご覧いただくために、マスコミの皆様を対象とした、「稚アユの遡上見学会」を下記の通り開催いたします。

記

- ① 日 時：平成29年5月12日（金）14：00～
- ② 場 所：長良川左岸 魚道観察室
- ③ 集合場所：長良川河口堰管理所 2階大会議室
- ④ そ の 他：この見学会は潮の関係で稚アユ遡上の可能性の高い日時を選ばせていただきました。

※：ご参加をお待ちしております。



平成29年5月8日



みず し げん き こう
独立行政法人水資源機構長良川河口堰管理所

発表記者クラブ

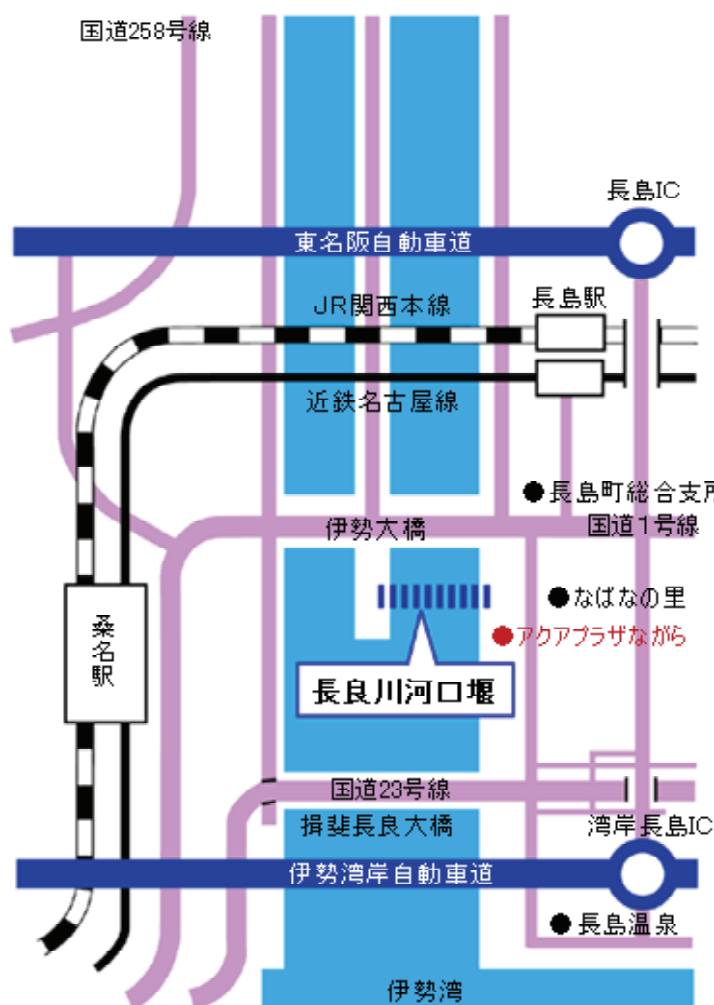
中部地方整備局記者クラブ
岐阜県政記者クラブ
三重県政記者クラブ
第二県政記者クラブ（三重県）
桑名記者クラブ

問い合わせ先

独立行政法人水資源機構 長良川河口堰管理所
環境課長 山口（やまぐち）
電話：0594-42-5012

(アクセス)

長良川左岸（下流を向いて左側）の長良川河口堰管理所2階大会議室にお集まりください。



☆ 車でお越しの方

- ・ 東名阪道 長島ICより約7分
- ・ 伊勢湾岸自動車道 湾岸長島ICより約10分
- ・ 国営木曾三川公園より約15分

☆ 公共交通機関でお越しの方

- ・ JR・近鉄 桑名駅より「なばなの里」行きバス終点 下車徒歩3分
- ・ JR・近鉄桑名駅よりタクシーで約15分
- ・ JR・近鉄長島駅よりタクシーで約5分

(その他)

① 見学会の開催日時は、潮の大潮小潮や干満などを考慮し、多くの稚アユの遡上が期待できる日時に設定しています。ただし、自然界のことなので見学会当日の天候や河川の流況によって、稚アユの遡上が見学会当日に見られないこともあります。ご理解いただきますようお願いいたします。

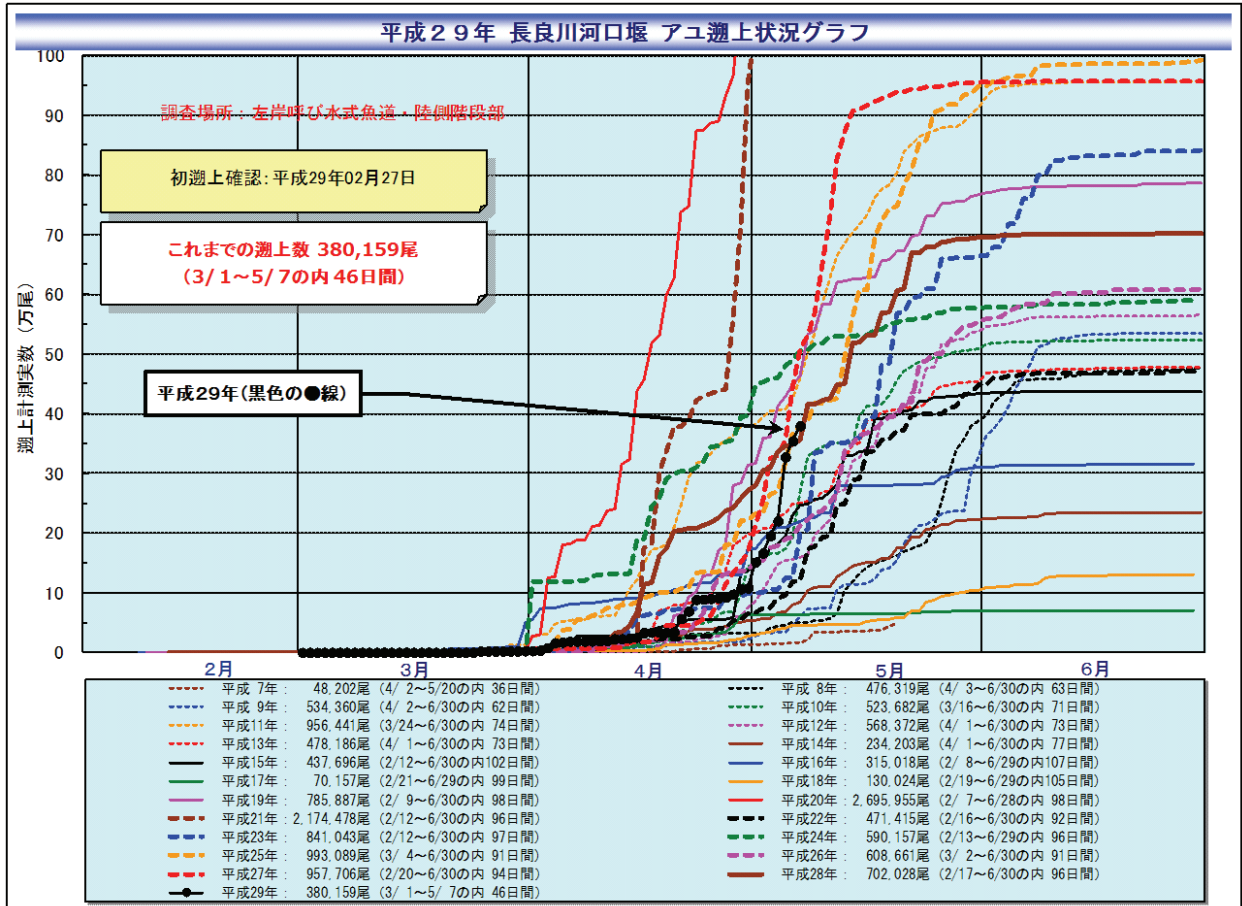
なお、長良川河口堰の魚道を遡上した今年の稚アユの静止画や動画は別途準備しておりますので、当日モニターでご覧いただくとともに、電子媒体（CD-R）を提供させていただきます。

② 見学会の準備の都合上、見学会への参加を希望される方は、5月11日（木）15時までに、問い合わせ先（長良川河口堰管理所 環境課）まで、記者クラブ名、社名、参加人数のご連絡をいただきますようお願いいたします。

◆ 稚アユの遡上状況

平成29年5月7日時点での遡上数は約38万尾です。

この遡上数は、毎年の遡上数を比較する目安として、長良川河口堰の魚道のうち1箇所（左岸呼び水式魚道・陸側階段部）で調査しているものです。



(稚アユ遡上調査地点：左岸呼び水式魚道 陸側階段部)



(魚道観察室の様子)



(稚アユの遡上状況：H29年4月14日撮影)

※写真右側が上流です。

(参考：アユの一生)

アユは、通常、春に川を遡り、夏に上流でなわばりを作り成長して、秋に川で産卵し、ふ化したアユの仔魚は海へ降下し、親アユは産卵後に一生を終えます。そのため年魚とも、独特の香りがすることから香魚とも言われます。

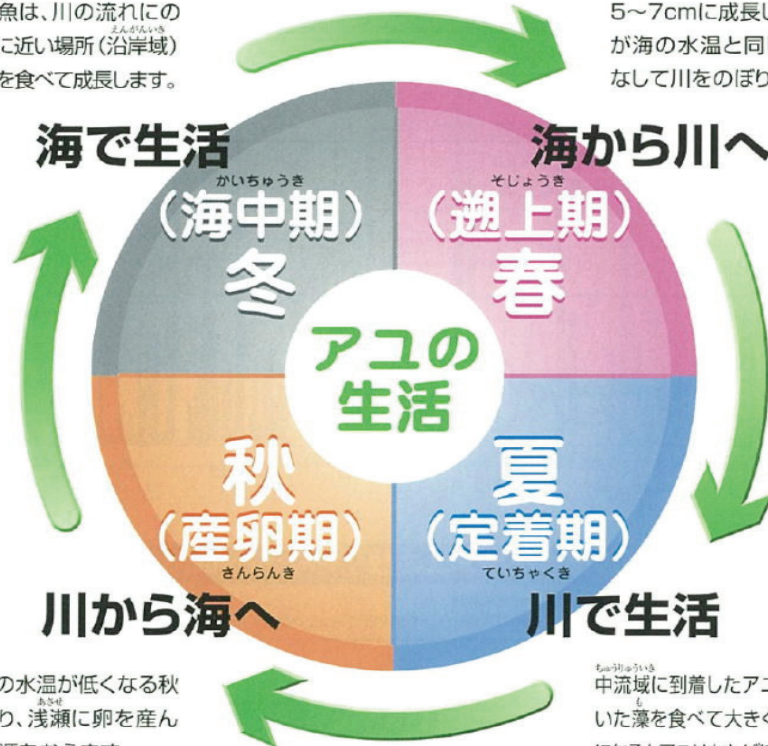
アユの一生



卵からかえった仔魚しんごは、川の流ながれにのって海まで下り、岸に近い場所えんがんにちい所(沿岸域)で動物プランクトンを食べて成長します。



5~7cmに成長したアユは、川の水みづ温が海の水温と同じになる頃にむれをなして川をのぼり始めます。



成熟したアユは川の水みづ温が低くなる秋になると下流におり、浅瀬あひせに卵を産んだ後一年の短い生涯をおえます。



中流域ちゅうりゅういきに到着したアユは、川がの石いしの表面へんめんについた藻もを食べて大きくなります。また、この頃になるとアユはなわばりをつくるようになります。

